

文部科学大臣メッセージ  
～誰一人取り残されない学びの保障に向けて～

先日公表した令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」において、

- ・小・中学校の不登校児童生徒数、そのうち学校内外で相談・指導等を受けていない児童生徒数がそれぞれ約30万人、約11万4千人に上り過去最多となっていること
  - ・いじめ重大事態の発生件数も923件と過去最多となり、更にそのうち約4割が事前にいじめとして認知されていなかったこと
- など、極めて憂慮すべき状況であることが判明しました。

この状況は非常に深刻であり、子供たちが誰一人取り残されず、安心して学ぶことができる環境を早急に整えるため、この度、「不登校・いじめ緊急対策パッケージ」をとりまとめることとしました。このパッケージによって、不登校児童生徒の学びの場の確保や心のSOSの早期発見など、各教育現場での取組を支援できるよう、緊急的に取り組むこととしており、私自身が先頭に立って、この状況に対応していきます。

児童生徒のみなさん。

我々大人が全力で様々な学びの場や相談の場を作り出していくので、学校に行くのが苦しくなったりときや、悩みがあるときにはぜひ積極的に活用してください。我々はみなさんの味方です。

各教育委員会や学校関係者のみなさまにおかれては、不安や悩みを相談できない子供たちがいる可能性や、子供たちの不安や悩みが従来とは異なる形で現れたり、一人で抱え込んだりする可能性等も考慮し、子供たちのSOSを早期に把握・対処する取組を強化してください。

更に、このパッケージを踏まえ子供たちに様々な学びの場を作り出し、悩みを抱える子供たちや保護者のみなさまに、様々な支援策について積極的に情報提供を行っていただくようお願いいたします。

その際、学校は1人1人が社会で生きる基礎を養い、国家・社会を支えるために必要な基本的な資質を養う場であることを踏まえ、引き続きよりよい学校づくりに向けた取組を進めていただきますようお願いいたします。

私は文部科学大臣として、子供たちが安心して学ぶことができる誰一人取り残されない学びの保障に向けて、子供たちに徹底的に寄り添っていきます。